

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2020年1月14日
【四半期会計期間】	第58期第3四半期（自 2019年9月1日 至 2019年11月30日）
【会社名】	ツインバード工業株式会社
【英訳名】	TWINBIRD CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 野水 重明
【本店の所在の場所】	新潟県燕市吉田西太田字潟向2084番地2
【電話番号】	0256(92)6111(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員経営企画本部長 小林 和則
【最寄りの連絡場所】	新潟県燕市吉田西太田字潟向2084番地2
【電話番号】	0256(92)6111(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員経営企画本部長 小林 和則
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) ツインバード工業株式会社東京支社 (東京都中央区日本橋小伝馬町14番4号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第57期 第3四半期連結 累計期間	第58期 第3四半期連結 累計期間	第57期
会計期間	自2018年3月1日 至2018年11月30日	自2019年3月1日 至2019年11月30日	自2018年3月1日 至2019年2月28日
売上高 (千円)	7,916,581	8,229,237	11,625,804
経常利益又は経常損失 () (千円)	199,509	265,067	57,036
親会社株主に帰属する当期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期 純損失 () (千円)	146,448	272,731	18,940
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	31,707	178,425	39,972
純資産額 (千円)	6,432,908	6,227,144	6,504,588
総資産額 (千円)	12,022,952	11,478,155	12,521,320
1株当たり当期純利益金額又は1 株当たり四半期純損失金額 () (円)	16.76	31.21	2.17
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	53.5	54.3	51.9

回次	第57期 第3四半期連結 会計期間	第58期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自2018年9月1日 至2018年11月30日	自2019年9月1日 至2019年11月30日
1株当たり四半期純利益金額又は 四半期純損失金額 () (円)	0.54	15.92

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額は、第57期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。また、第57期第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び第58期第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載していません。

4. 「役員向け株式交付信託」に残存する自社の株式は、第57期の1株当たり当期純利益金額及び第57期第3四半期連結累計期間の1株当たり四半期純損失金額、第58期第3四半期連結累計期間の1株当たり四半期純損失金額の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

なお、連結子会社である株式会社ツインバードサービスは、8月2日付で清算終了いたしました。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当社グループの当第3四半期連結累計期間における売上高は8,229百万円となり、前年同期比312百万円の増収(増減率3.9%)となりました。家電量販市場では、消費増税前の駆け込み需要の影響に加え、単独・少人数世帯向け冷凍冷蔵庫や洗濯機、電子レンジ等が好調で拡販に寄与しました。また、ポイントサービス市場において昨年発売した全自動コーヒーメーカーなどが堅調に推移しております。一方、当第3四半期(9月~11月)につきましては、消費税率引き上げ後の反動の影響や当初見込んでおりましたOEM製品のリピート需要が弱含みとなり、前年同期比減収となりました。

利益面につきましては、営業損失は175百万円、経常損失は265百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失は272百万円といずれも損失計上となりました。売上高は前年同期比増収となったものの、昨年度から続く物流費用の高騰の影響を受けました。なお当第2四半期におきまして投資有価証券評価損110百万円を計上しております。

(2) 経営方針・経営戦略等

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間における研究開発活動の金額は316百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社の研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	34,000,000
計	34,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (2019年11月30日)	提出日現在発行数(株) (2020年1月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	9,030,000	9,030,000	東京証券取引所 市場第二部	単元株式数 100株
計	9,030,000	9,030,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2019年9月1日～ 2019年11月30日	-	9,030,000	-	1,742,400	-	1,748,600

(5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（2019年8月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2019年11月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 28,200	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 9,000,100	90,001	-
単元未満株式	普通株式 1,700	-	-
発行済株式総数	9,030,000	-	-
総株主の議決権	-	90,001	-

(注) 1. 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、役員向け株式交付信託が保有する当社株式264,300株(議決権の数2,643個)が含まれております。

2. 「単元未満株式」欄の普通株式には、役員向け株式交付信託が保有する当社株式31株が含まれております。

【自己株式等】

2019年11月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
ツインバード工業(株)	新潟県燕市吉田西太田 字潟向2084-2	28,200	-	28,200	0.31
計	-	28,200	-	28,200	0.31

(注) 役員向け株式交付信託が保有する当社株式は、含まれておりません。

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期累計期間において役員の異動はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（2019年9月1日から2019年11月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（2019年3月1日から2019年11月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、太陽有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	873,307	1,328,910
受取手形及び売掛金	2,432,187	1,615,970
商品及び製品	3,084,231	2,530,598
仕掛品	303,985	360,745
原材料及び貯蔵品	307,697	368,166
その他	423,105	260,140
貸倒引当金	1,323	884
流動資産合計	7,423,191	6,463,648
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,353,789	4,378,555
減価償却累計額	3,094,331	3,154,372
建物及び構築物(純額)	1,259,457	1,224,182
機械及び装置	595,869	595,869
減価償却累計額	542,667	547,395
機械及び装置(純額)	53,202	48,473
金型	1,655,922	1,723,720
減価償却累計額	1,325,799	1,489,349
金型(純額)	330,122	234,370
工具、器具及び備品	520,743	523,957
減価償却累計額	432,453	446,124
工具、器具及び備品(純額)	88,289	77,833
土地	2,056,499	2,056,499
建設仮勘定	-	8,919
その他	1,490,163	1,517,616
減価償却累計額	1,220,374	1,281,596
その他(純額)	269,789	236,020
有形固定資産合計	4,057,360	3,886,300
無形固定資産	371,850	340,508
投資その他の資産		
投資有価証券	520,362	529,476
その他	149,336	259,001
貸倒引当金	779	779
投資その他の資産合計	668,918	787,698
固定資産合計	5,098,128	5,014,506
資産合計	12,521,320	11,478,155

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	200,410	238,143
短期借入金	1,500,000	900,000
1年内償還予定の社債	30,000	-
1年内返済予定の長期借入金	1,013,180	1,030,270
リース債務	169,248	125,273
未払法人税等	17,901	-
未払消費税等	1,101	111,213
賞与引当金	51,188	-
製品補修対策引当金	1,590	9,122
その他	359,746	414,673
流動負債合計	3,344,367	2,828,694
固定負債		
長期借入金	2,000,146	1,793,460
リース債務	433,736	368,067
退職給付に係る負債	124,265	166,102
役員株式給付引当金	28,320	38,220
資産除去債務	20,100	20,100
その他	65,795	36,365
固定負債合計	2,672,363	2,422,315
負債合計	6,016,731	5,251,010
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,742,400	1,742,400
資本剰余金	1,834,238	1,834,238
利益剰余金	3,110,067	2,738,316
自己株式	118,345	118,345
株主資本合計	6,568,359	6,196,608
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	184,445	71,419
繰延ヘッジ損益	95,396	80,851
為替換算調整勘定	32,092	27,789
退職給付に係る調整累計額	6,813	6,684
その他の包括利益累計額合計	63,770	30,535
純資産合計	6,504,588	6,227,144
負債純資産合計	12,521,320	11,478,155

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)
売上高	7,916,581	8,229,237
売上原価	5,902,350	6,049,201
売上総利益	2,014,231	2,180,036
販売費及び一般管理費	2,175,651	2,355,124
営業損失()	161,420	175,088
営業外収益		
受取利息	346	93
受取配当金	4,825	5,590
業務受託料	14,465	600
為替差益	1,800	-
保険解約返戻金	-	2,019
その他	10,349	13,986
営業外収益合計	31,786	22,289
営業外費用		
支払利息	15,896	16,122
売上割引	53,542	87,283
為替差損	-	7,435
その他	436	1,427
営業外費用合計	69,876	112,268
経常損失()	199,509	265,067
特別利益		
固定資産売却益	1,902	-
投資有価証券売却益	3,609	-
特別利益合計	5,511	-
特別損失		
固定資産処分損	38	2,210
投資有価証券評価損	-	110,673
特別損失合計	38	112,883
税金等調整前四半期純損失()	194,036	377,951
法人税等	47,588	105,219
四半期純損失()	146,448	272,731
親会社株主に帰属する四半期純損失()	146,448	272,731

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)
四半期純損失()	146,448	272,731
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	97,047	113,026
繰延ヘッジ損益	218,775	14,545
為替換算調整勘定	6,692	4,302
退職給付に係る調整額	294	128
その他の包括利益合計	114,740	94,306
四半期包括利益	31,707	178,425
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	31,707	178,425

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)
減価償却費	389,990千円	356,021千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年3月1日 至 2018年11月30日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年5月29日 定時株主総会	普通株式	63,011	7.0	2018年2月28日	2018年5月30日	利益剰余金
2018年10月11日 取締役会	普通株式	27,005	3.0	2018年8月31日	2018年11月16日	利益剰余金

- (注) 1. 2018年5月29日定時株主総会決議に基づく配当金の総額には、役員向け株式交付信託が保有する当社株式に対する配当金1,850千円が含まれております。
2. 2018年10月11日取締役会決議に基づく配当金の総額には、役員向け株式交付信託が保有する当社株式に対する配当金792千円が含まれております。

(2) 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間末後となるもの
該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年5月29日 定時株主総会	普通株式	72,013	8.0	2019年2月28日	2019年5月30日	利益剰余金
2019年10月10日 取締役会	普通株式	27,005	3.0	2019年8月31日	2019年11月15日	利益剰余金

- (注) 1. 2019年5月29日定時株主総会決議に基づく配当金の総額には、役員向け株式交付信託が保有する当社株式に対する配当金2,114千円が含まれております。
2. 2019年10月10日取締役会決議に基づく配当金の総額には、役員向け株式交付信託が保有する当社株式に対する配当金792千円が含まれております。

(2) 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間末後となるもの
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2018年3月1日 至 2018年11月30日)

当社グループは、報告セグメントが家電製品事業のみであり、当社の業績における「その他」の重要性が乏しいため、記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)

当社グループは、報告セグメントが家電製品事業のみであり、当社の業績における「その他」の重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)
1株当たり四半期純損失金額()	16円76銭	31円21銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純損失金額() (千円)	146,448	272,731
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純 損失金額()(千円)	146,448	272,731
普通株式の期中平均株式数(株)	8,737,377	8,737,377

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり四半期純損失金額()の算定上、役員向け株式交付信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。(前第3四半期連結累計期間264,331株、当第3四半期連結累計期間264,331株)

2【その他】

2019年10月10日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

配当金の総額.....27,005千円

1株当たりの金額.....3円00銭

支払請求の効力発生日及び支払開始日.....2019年11月15日

(注) 2019年8月31日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いをおこなっております。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年1月14日

ツインバード工業株式会社

取締役会 御中

太陽有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 須永 真樹 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 藤本 浩巳 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 丸田 力也 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているツインバード工業株式会社の2019年3月1日から2020年2月29日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2019年9月1日から2019年11月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（2019年3月1日から2019年11月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ツインバード工業株式会社及び連結子会社の2019年11月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれていません。